

収穫終盤 農作物生育状況

十勝管内では収穫作業が終盤を迎えていました。てん菜の収穫は終盤に差し掛かり、根物野菜の掘り取り作業はピークになりました。

ゆとりみらい21推進協議会がまとめた生育状況（10月15日現在）によると、夏場の高温・干ばつを背景に、てん菜の根周は移植・直播ともに平年を下回りました。

既に収穫が終了している小豆・大豆においては、平年より8日ほど早く「成熟期」を迎えたほか、馬鈴しょの「収穫終」も5日早まりました。

一方、来年に向けた秋まき小麦の「出芽期」は、雨天が続いた影響で播種作業が滞ったため、平年より4日遅れて推移しています。

ながいもの作柄については、いも長は平年を上回っていますが、いも重・いも径・乾物率とともに下回っています。

また、10月2日には長いも坪掘調査が実施され、重量・収量ともに前年を1割ほど下回る結果となりました。同15日には共選長いも生産者会議を開催し、前年産の販売状況や本年産の作況報告、取扱計画が協議されました。

収穫期が終盤を迎えたことで疲労もピークに達し、交通事故・農作業事故が多くなる傾向にあります。日没時間が早まるにつれて視界も悪くなるため、無理な作業は避け、ゆとりをもって収穫作業を行うよう心がけましょう。



ごぼうの収穫



当JA職員による長いもの坪掘り

幕別町産業まつり 野菜即売会



10月5日、「第48回まくべつ産業まつり」が百年記念ホール前特設広場にて開催されました（実行委員会主催）。

青空が広がる絶好の行楽日和の中、会場はみのりの秋を味わいに訪れた来場者でにぎわいました。

当組合は、馬鈴しょや長いも、かぼちゃ、長ネギといった季節を代表する野菜の即売会を実施し、多数のお客様にご来店いただきました。

お客様からは「野菜即売会を楽しみに会場に来た」というお声を数多くいただき、昼ごろには用意した品物がすべて完売するなど大変好評でした。

ほかにもイベントが盛りだくさんで、「パークゴルフお楽しみ大会」や、飛距離を競う恒例の「女子かぼちゃ投げ大会」には上限の100名がエントリーし、大きな声援が飛んでいました。

会場は終始活気に満ちあふれ、秋の一大イベントは大盛況でした。

青年部学校食育推進事業



10月6日、青年部（早苗晃平部長）の協力により学校食育推進事業が開催され、札内南小学校の3年生97名が参加しました（町教育委員会主催）。

本年は松田郁夫さん（日新地区）の圃場をお借りして、てん菜の「収穫体験」「青空教室」「機械見学」を行いました。

収穫体験では、実際に圃場の中からてん菜を引き抜くという作業に臨み、作物に触れながら成長の過程について知識を深めました。

青空教室では、○×クイズを通して、てん菜の特性について学びました。児童たちからは「葉っぱは食べることができますか」といった質問が寄せられ、意欲的に学ぼうとする姿勢が印象的でした。

機械見学では、青年部員が実際にスプレーヤを動かしてみると、機械の迫力に、多くの児童から「おー！」という歓声が上がりいました。

爽やかな秋晴れの中、元気いっぱいな児童たちとの充実した食育事業となりました。